

建築システム科 教育課程表

共通履修

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1 学年	国語総合		地理 A		数学 I			科学と人間生活		体育		保健	美術 I		コミュニケーション英語 I			工業技術基礎		製図		情報技術基礎		建築構造		建築計画		総合	HR		
2 学年	国語総合		世界史 A		数学 II			物理基礎		体育		保健	家庭基礎		英語表現 I		実習			建築構造	建築構造設計	建築施工	建築法規		コース選択 (2 単位)		総合	HR			
3 学年	現代社会		体育		課題研究			実習				環境工学基礎		建築施工	建築総合		類系選択 (12 単位)										HR				

第 2 学年コース選択 (2 単位)

単位	1	2
建築デザインコース	製図	
建築テクノロジーコース	実習	

注) 「総合」は総合的な探求の時間。内容は以下の通り。
 第 1 学年は「ONE BY DESIGN」
 第 2 学年は「就業体験」(課業日に集中実施)

第 3 学年類系選択 (12 単位)

単位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
I 類	理工系コース	国語表現		コミュニケーション英語 II			理工系数学			化学基礎	理工系物理		
	芸術系コース						構成			素描			
II 類	建築デザインコース	国語表現		数学 A		建築構造設計		建築計画 または 建築法規 から 1 科目選択			製図		
	建築テクノロジーコース							実習					

● 建築デザインコースの目標・取り組み

建築設計製図等を通して、木造・鉄筋コンクリート造・鋼構造等の設計技術を学習するなど、広範囲な講義と実技を展開し、社会で活躍できる建築設計士の育成を目標としています。

この目標の達成のために、設計製図、CAD (コンピュータ設計)・CG などの実習教科に重点をおいたカリキュラムになっており、十分に設計技術を身につけます。

● 建築テクノロジーコースの目標・取り組み

木造・鉄筋コンクリート造・鋼構造等さまざまな建築物に幅広く携わる施工技術を学び、建築施工を管理できる施工技術者の育成を目標としています。また、大工など技能に卓越した技術者の育成も目標としています。

この目標の達成のため、建築分野において重要な科目や実習をバランスよく配置し、実習においては「ものづくり」を主眼においた内容となっています。